

同窓会報

NO. 40
1994.2

発行——山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会事務局 TEL 0238—22—0091



同窓会主催 記念音楽会「松野弘明リサイタル」1993. 9 .13

学園
近況

新しい酒は
新しい皮袋に

斎藤清一

皆様、お元気で過ごしのことと思います。学園にお出でいただいた同窓生や外部の方からは、生徒達の挨拶が元気で明るくなったとお褒めの言葉をいただいています。うれしいかぎりです。これは校長先生提唱の「元気な学校」が表出されたものの結晶のひとつです。

さて、学園近況で皆様にお伝えできる最新のニュースのひとつは、今春の新入生から新制服に変わることです。デザイナーはプリンセス雅子やリレハンメル五輪の日本チームのユニホームを手掛けた世界の森英恵です。同窓生からもいろいろとアドヴァイスいただき、ありがとうございます。他校との決定的な違いはワンパターンではなく、いろんなヴァリエーションを生徒が選択できることです。米沢の春の風景にご注目下さい。

もうひとつは、学園の国際化教育が更なるステップを踏み出すことです。現在、AETのT・ギルバートが学園で教壇に立っていることをご承知の方もおありのことと思います。また学園のホープの酒井先生がすでに豪州の首都キャンベラの名門校ラドフォードに日本語教師として出向しており、春にはお互いの学校から留学生が各二名交流します。皆様、お見守りとご支援のほどお願いします。

記念音楽会

うれしかった

誠意に満ちた演奏



西山信子 (S45年卒)

松野弘明
ヴァイオリンリサイタル

今年の記念音楽会は松野弘明(二十七歳)のヴァイオリン演奏でした。この演奏会までは、ポスターの効果、チケットの売れ行きを大変心配しました。しかし当日は八百人程の入りで安堵しました。そして何よりも、若い松野さんの演奏が誠意に満ちたものであることが嬉しかったと思います。

二歳からうちこんだというその音は心にさわやかに響きました。ヴァイオリンを生で聴くのは初めての私にとって、新しいものを得た気持ちです。松野さんはアイデアといい、テクニクといい傑出した技量の持ち主で、その自然で温かい演奏は世界的に期待されているそうです。曲目の中では「ユーミンコンチェルト」が若い人たちの心をとらえたようです。会場は徐々に魅力的な雰囲気につつまれていくのがわかりました。また、校歌を演奏して下さったのですが、それはいつも聴き慣れた校歌と違い、はるか遠い調

同窓会総会

破顔一笑 わが師白髪

小出千秋 (S44年卒)

六月二十七日(日)サンルート米沢に於いて平成五年度の同窓会総会が開催されました。今年は卒業年が四と五のつく私達が登場でした。どうすれば多数の同窓生を集めることが出来るか、会費は高過ぎないか、懇親会はどんなメニューにするか等々、細部まで検討しました。

当日は、東京支部長の占部さんをはじめ、福島等からも含めて百三十名の参加がありました。事業計画では、昨年の記念音楽会、ダ・カーポのチケットの売れ行きが不振だったので今後はどんな方向で地域の方々へサービス出来る音楽会を企画すべきか、意欲的な意見がたくさん出されました。そして、九里祭に同窓生の部

べのような気品にあふれるものでした。今、私は家で松野さんのテープを聴いています。ヴァイオリンのモーツァルトも良いものだと思います。時の流れと共に回を重ねてきた記念音楽会ですが、いろいろな意見が出ています。なんとか、卒業生や地域の皆様の一人でも多くの方に、いい音楽に触れてもらうことを願っています。そして、毎年九月十三日が記念音楽会ということをおいていただいで、大勢の同窓生で会場をいっぱいにしたいものです。

屋を設けて参加することが決まりました。また、テレフォンカードを販売し、同窓会の資金作りの一助にすることにしました。

引き続き「自然に学ぶ」と題して、神原前教頭先生から植物、特に雑草への想い入れを話して頂きました。先生のファンから贈られた大きな花束は白髪になられた先生の笑顔に映えています。「自分も主催者の側になったつもりで準備してきた」という平賀先生の力のこもった挨拶で懇親会は始まりました。出席者の輪が一つとなって校歌を歌うときは、九里の太い絆と、明日頑張ろうという励ましを強く感じました。





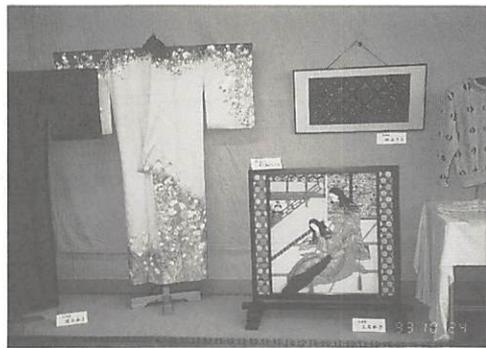
佐伯雅子 御夫妻
(S 29年卒)

今日はこんなことを教わったと、帰って来ては話す。それが結構私のゴルフの参考になっている。
あれやこれやと今のところは結構な妻ではある。
(東京府中市在住)

妻が東京に出て来たのは昭和四十二年である。母親が厳しかったせいというから、いわば家出の部類というべきである。この東京へ出て来た動機が動機だけに、米沢への帰り道はなかったという。
意地で通した東京での生活が妻を意志の強い女へと作り上げていったと思う。そんな彼女と私が知り合ったのは、彼女が四十六歳の時であった。それ以来、私の仕事の台所番としてがっちり守る女房となつてしまった。
私の仕事は司法書士業であるが、この職業は時間に追われる上に、正確迅速が要求されるので、毎日相当の疲労が伴う。そんな私を司法書士事務所のスタッフの一員として支えてくれているのが妻である。他のスタッフは主従の関係があるため遠慮があるが、妻は一心同体の観念から、何かと文句を言う。もともと彼女がうるさいというのは私の方に反省の余地があるということかもしれない。
妻は今、ゴルフ教室に週一回通っていて、

片道キップ 佐伯欣也

今年の「九里祭」に同窓生の部屋を設け、同窓生の作品を展示させていただきました。
この行事については、数年前から積極的な意見があり、昨年六月の総会で取り組みが決定したものです。七月、早速出品者の交渉に入る一方、バザー用の品物を作ることになりました。
竹田会長に指導していただき、箸袋、小箱を夏休みに数回集めて作りました。出来上がった作品は見事なもので、昔懐かしい



九里祭
参加 10/24

確実に静かに動いている

母校を感じました

同窓生作品展

須藤 昭子 (S 23年卒)

千代紙の風情に感嘆の声ががりました。紙人形、木目込み人形、押し絵、刺し子、木彫り、パッチワーク、着物、編み物、皮工芸、書、生花等々。十二名の出品者各々の作品は自信に満ち、存在感のある部屋になりました。

九里祭当日はあいにくの雨でしたが、見に来て下さった方々、出品者の方々、共に満足感をもっていただいたと思っております。また、在校生の方には、母校の伝統の重さを感じ取っていただけたと思います。私達も、新しくなるという制服のショーや種々の展示を見せていただき、静かに確実に動いている母校の現在を感じました。

同窓会が今後共「九里祭」に参加していくことは、真の母校理解につながると思われます。また、作品を出品することにより、互いに切磋琢磨することも大きな意味があります。参加について深く思考し、更に発展させていきたいものです。参加者の皆様ありがとうございます。みなさまの率直なご感想ご意見をお聞かせ下さい。

職場訪問



受験用の読書から

生活指導まで

キャリア33年の想い

山形西高校
図書館司書

武田慶子さんを訪ねて

(S34年卒)

行方 絹代 (S24年卒)

ご卒業、山形県立米沢女子短期大学に進まれました。在学中鶴見大学の寮に四十日ほど入れられ勉強、司書の資格を取られたそうです。お母様が文学全集を母校に寄贈されたそうですが、そういう本が身近にあつて読んだのが司書を志すきっかけとおっしゃいました。米沢市立図書館を振り出しに、山形南高等学校に九年、山形工業高等学校に十五年、上山農業高等学校に五年、現在の山形西高等学校に

一月十日、寒中にしては珍しく暖かなよい天気の日、山形県立西高等学校の武田慶子さんをお訪ねしました。西校は山形駅のほど近い南に位置する進学校として有名な女子高校です。生徒数九八二名。武田さんは司書としてお務めになっていきます。

昭和三十四年米沢女子高を

三年目。その道三十三年のベテランでいらっしゃる。

若い頃米沢から山形まで六年間通勤、朝六時に出て、夜九時の汽車で帰ることもしばしばでした。その頃の生徒が先生になっていくそうです。いろいろな学校をまわりましたが、家庭環境などのため生活指導からしなければならなかったこともあったと述懐しておられました。今は生徒が元日から勉強しているの、ゆつくり年末年始を休むことも出来ないそうです。一週間に一冊読むよう指導されているそうですが、読む子は年間百冊以上、読まない子は一・二冊ということですね。また読むクラスと読まないクラスがあるそうです。三年生になってあわてて読むのでなく、一年の時から本に親しんでいると三年生になって小論文に強くなり、文章をまとめる力がつき、また読むスピードも早く、国語だけでなく英語にも強くなるとのことです。とにかく本を読むのが面倒にならないように、薄くてやさしい本から読書習慣をつけるよう指導されています。

蔵書二万八千冊。本棚は総て木製、床と机も勿論木。広々とした図書室、郷土出身の画家の絵が数点飾られ、花の鉢もあちこちに。その中に生徒達の明るい声がありました。校舎の中庭には石のテーブルと椅子が備えつけになっていてお昼を食べたりするそうです。心の温かい、やさしい武田さんの指導を受けながら勉強出来る生徒は幸せだな、と思いながらおいとまいました。

楽しんでます

S38年 学年会



「川の流れのように」をテーマソングに持つこの会は、さくら会といえます。米沢在住の人を主に昭和三十八年の卒業生全員の本部として、平成四年に発会致しました。各クラスに世話人を置き、現在三十名の会員がおります。月会費五百円で、その会費納入をかねて年四回食事をしながら親睦を深めています。

十月に次年度の事業計画をたて例会と旅行の日程を決めています。昨年は松島方面へ食べものをたくさん持って楽しい旅をしてきました。今年は六月に東武ワールドスクウェアと日光江戸村に行くことになっています。

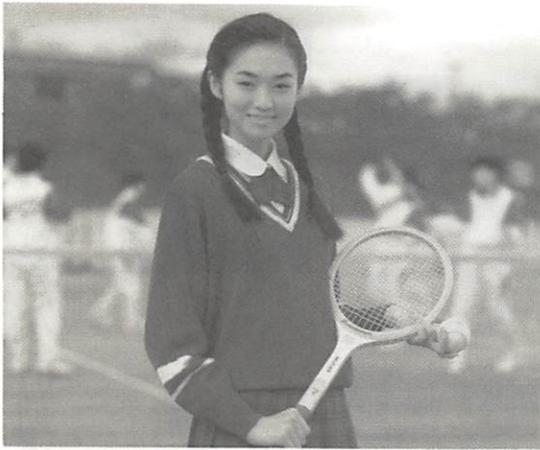
今後は土台をしっかりと強くして将来は会員の泊まれる家がほしいと思っています。(桜井多生子)

街で見かけたら 声をかけて下さい

制服が変わります

— 豊かな感性を響かせたい —

制服検討委員会
八ツ賀 美智子



九里学園の歴史と伝統を踏まえ、米沢女子高等学校を、そして生徒を「日本の学校・生徒」にしたいという校長先生と全職員の違いのもとに、新しい制服が検討されました。

デザイナーは、森英恵さんです。森さんは制服について、「永く着用するものなので、機能的・合理性に優れた質の良いものであることはもちろん、手入れがしやすく清潔でしかも着心地が良く、学生らしいきちんとした雰囲気も伝えるものであること、また着る人が自分の感性を生かしてアレンジできるもの。更に、集団としての美しさ調和もデザインに取り入れなければなりません。」と言っています。

基本の制服は、紺のジャケットとスカート、白い丸衿ブラウス、紺とシルバーのストライ



プのネクタイの組み合わせです。他に、タータンチェックの替スカート、そして三種類のリボンタイがあります。ブルグリーのVセーターとベスト。コートはシングルとダブルがあり、色はボトムグリーンの無地です。この制服は基本スタイルの他にも、時と場合に応じた幾つかの組み合わせを楽しめるようになっていきます。

21世紀の学園にふさわしい制服として選ばれたものです。生徒達が誇りを持って着てほしいと思います。

同窓生の皆さん、この四月街で新しい制服に会ったら是非声をかけて下さい。現制服は、昭和三十年から三十九年間の長きにわたり着用されてきましたので、若干の寂寥をお感じの方もおられると思いますが、校内外ともにリフレッシュした九里学園に御理解と御支援をお願いします。

木の縦の桜の 桜の木の縦の 右に 桜の木の横の 左に

かねてから要望がありましたテレフォンカードを、同窓会の資金づくりも兼ねて作ることにしました。

左に桜、右に縦の木という正装したような校舎正面の構図になっています。この校舎は、昭和十年から親しんできた懐かしいものです。皆様記念にどうか一枚お持ち下さい。また、クラス会などの折にみなさんに是非お勧めいただきたいと思います。

一枚 一、〇〇〇円です。同窓会事務局で扱っておりますので、いつでもお問い合わせ下さい。



是非おもとめ下さい

平成5年度 一般会計収支予算書

(収入の部)

| 項目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 増 減 | 備 考 |
|-----------|-----------|-----------|----------|------------|
| 繰越金 | 122,806 | 232,342 | △109,536 | |
| 入会金 | 330,000 | 324,000 | 6,000 | 4年度卒業生330名 |
| 終身会費 | 1,650,000 | 1,620,000 | 30,000 | " |
| 事業収入 | 50,000 | 100,000 | △50,000 | 音楽会など |
| 寄付金収入 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 会報購読料 | 90,000 | 70,000 | 20,000 | |
| 基本金から繰り入れ | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 7,194 | 3,658 | 3,536 | 利子、その他 |
| 合計 | 2,300,000 | 2,400,000 | △100,000 | |

(支出の部)

| 項目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 増 減 | 備 考 |
|--------|-----------|-----------|------------|--------------|
| 運営費 | 730,000 | 740,000 | △10,000 | |
| 事務費 | 70,000 | 50,000 | 20,000 | 事務用品 |
| 通信費 | 100,000 | 150,000 | △50,000 | |
| 旅費 | 150,000 | 120,000 | 30,000 | 役員の出張経費 |
| 会議費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 役員会など |
| 人件費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 慶弔費 | 70,000 | 80,000 | △10,000 | |
| 印刷費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 会員証など |
| 雑費 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| 事業費 | 780,000 | 620,000 | 160,000 | |
| 総会経費 | 200,000 | 150,000 | 50,000 | 総会の経費 |
| 会報発行費 | 350,000 | 340,000 | 10,000 | 編集、印刷、配布経費など |
| 音楽会経費 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| 支部活動補助 | 130,000 | 130,000 | 0 | |
| カード作製 | 750,000 | 0 | 750,000 | テレフォンカード作製費 |
| 基本金繰入金 | 0 | 1,000,000 | △1,000,000 | |
| 予備費 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| 合計 | 2,300,000 | 2,400,000 | △100,000 | |



ひたむきな活動に 厚生大臣賞

・ 遠藤岩根先生
・ 佐藤せつさん

昨年五月、遠藤岩根先生が永年の赤十字活動の指導者としてそのひたむきな精神が認められ、厚生大臣賞を受賞されました。
「真実に感動し、すべての人に慈しみを与える」岩根先生の生き方から同窓生は大きな愛を受けました。そして岩根先生から学んだことを今もみんな誇りにしています。先生おめでとうございます。

十月、本校を昭和二十三年に卒業された佐藤せつさんが、永年の幼児教育の功労を讃えられ、同じく厚生大臣賞を受賞されました。佐藤さんは、小学校の先生を経て、昭和三十三年保母の資格を取られました。以来三十五年間、ずっと保母一筋に打ち込んでこられました。現在は米沢中央保育園の園長をしておられます。この間、市の保母会長、県保育会副会長として、子供のための環境整備のため力をそそいでこられました。おめでとうございます。

編集後記

会報もようやく40号を数えるところまでできました。年一回発行とすると40年を経ています。

新しい企画をのせたいと思っておりますが、なかなかアイデアがわかりません。スタッフももう2人は、ほしいところです。

元気が出る会報にしたいので、皆様の御助言をお願いします。

- 現在の会員名簿は住所不明の人が目立つようになりました。クラス会・学年会等で正確なところを把握の方は、是非事務局までお知らせ下さい。
- テレフォンカードが出来ました。一枚千円です。記念にお買い求め下さい。

- 会報の購読制をとってから二年目になりました。購読料切れ(二年で千円)の方は、どうか継続手続きをお願い致します。

